



2022年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年9月27日

上場会社名 アスカ株式会社
 コード番号 7227 URL <http://www.aska.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 片山 義規
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 片山 義浩
 四半期報告書提出予定日 2022年10月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 0566-36-7771

(百万円未満切捨て)

1. 2022年11月期第3四半期の連結業績(2021年12月1日～2022年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年11月期第3四半期	22,659	15.5	391	33.0	708	14.9	572	22.1
2021年11月期第3四半期	19,616	8.7	584	83.8	832	150.1	735	176.8

(注) 包括利益 2022年11月期第3四半期 1,169百万円 (9.6%) 2021年11月期第3四半期 1,067百万円 (1,020.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年11月期第3四半期	100.30	
2021年11月期第3四半期	128.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年11月期第3四半期	32,958	9,640	29.2
2021年11月期	31,667	8,681	27.4

(参考) 自己資本 2022年11月期第3四半期 9,634百万円 2021年11月期 8,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年11月期		15.00		21.00	36.00
2022年11月期		16.00			
2022年11月期(予想)				20.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年11月期の連結業績予想(2021年12月1日～2022年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	20.4	900	2.0	1,300	9.2	1,000	4.6	175.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年11月期3Q	5,715,420 株	2021年11月期	5,715,420 株
期末自己株式数	2022年11月期3Q	5,967 株	2021年11月期	5,893 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年11月期3Q	5,709,489 株	2021年11月期3Q	5,709,547 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及が順調に進み、行動制限が緩和され、各種活動が徐々に再開されました。しかしながら、感染再拡大の状況にあり、さらに、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー資源や原材料価格の高騰、急激な円安進行を背景に先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高226億5,988万円（前年同四半期比15.5%増）、営業利益3億9,131万円（前年同四半期比33.0%減）、経常利益7億859万円（前年同四半期比14.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億7,265万円（前年同四半期比22.1%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

〔自動車部品事業〕

国内では、新型車種の立ち上がりに伴う金型売上高の増加及び、国内、海外ともに鋼材の価格上昇分が売価へ反映された結果、当事業の売上高は、175億5,373万円（前年同四半期比20.9%増）となりました。営業利益は、労務費、経費の増加により、2億7,159万円（前年同四半期比40.0%減）となりました。

〔制御システム事業〕

主要得意先の大口件名の受注が減少した結果、当事業の売上高は、21億5,683万円（前年同四半期比2.2%減）、営業利益は、4,527万円（前年同四半期比59.6%減）となりました。

〔ロボットシステム事業〕

海外現地法人で自動化システムの受注が増加した結果、当事業の売上高は、24億906万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。営業損失は、153万円（前年同四半期は6,694万円の営業損失）となりました。

〔モータースポーツ事業〕

観客を動員したイベントを開催することができた結果、当事業の売上高は、8億80万円（前年同四半期比14.1%増）となりましたが、経費の増加により、営業損失は、676万円（前年同四半期は1,392万円の営業利益）となりました。

〔賃貸及び太陽光事業〕

前年同四半期とほぼ変動がなく、当事業の売上高は、3億6,553万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は、8,112万円（前年同四半期比13.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期連結会計期間末の総資産は、329億5,841万円の前連結会計年度末に比べ12億9,059万円の増加となりました。これは主に仕掛品が増加したことによるものであります。

負債は、233億1,811万円の前連結会計年度末に比べ3億3,198万円の増加となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、96億4,030万円の前連結会計年度末に比べ9億5,860万円の増加となりました。これは主に為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、29.2%（前連結会計年度末は、27.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年6月28日付「2022年11月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2022年11月期の通期業績予想を修正しております。自動車部品事業で、鋼材価格の上昇に連動し、売上高が増加する一方で得意先の生産稼働停止により部品売上高が減少するため、売上高の修正はありません。営業利益は、得意先の生産稼働停止による部品売上高の減少に伴う付加価値減に加え、労務費及び経費の増加により減少する見込であり、また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益が減少する一方で、在外子会社の外貨建債務の為替差益が発生する見込であるため、それぞれ修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,422,303	1,272,209
受取手形及び売掛金	4,846,094	3,851,874
商品及び製品	153,250	220,315
仕掛品	1,615,449	2,724,691
原材料及び貯蔵品	432,251	511,341
その他	1,107,316	1,471,661
流動資産合計	9,576,664	10,052,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,701,056	7,618,482
機械装置及び運搬具(純額)	3,844,843	4,762,593
土地	5,782,731	6,097,407
その他(純額)	2,179,936	1,589,912
有形固定資産合計	19,508,568	20,068,396
無形固定資産		
のれん	11,990	—
その他	34,449	31,947
無形固定資産合計	46,439	31,947
投資その他の資産		
投資有価証券	1,843,335	2,141,132
その他	692,810	664,845
投資その他の資産合計	2,536,146	2,805,977
固定資産合計	22,091,155	22,906,321
資産合計	31,667,819	32,958,415
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,238,614	3,263,483
電子記録債務	1,607,442	1,767,912
短期借入金	2,030,000	2,960,000
1年内返済予定の長期借入金	3,407,042	3,759,158
リース債務	109,545	—
未払法人税等	225,190	34,178
賞与引当金	43,626	205,482
その他	2,206,214	1,900,411
流動負債合計	12,867,676	13,890,626
固定負債		
長期借入金	8,528,279	8,130,834
リース債務	289,515	—
役員退職慰労引当金	413,665	415,665
退職給付に係る負債	792,620	786,461
その他	94,365	94,523
固定負債合計	10,118,447	9,427,486
負債合計	22,986,124	23,318,112

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	900,444	900,444
利益剰余金	6,165,296	6,526,698
自己株式	△3,653	△3,727
株主資本合計	7,965,930	8,327,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	596,044	790,188
為替換算調整勘定	93,986	501,243
退職給付に係る調整累計額	21,570	16,265
その他の包括利益累計額合計	711,601	1,307,698
非支配株主持分	4,163	5,347
純資産合計	8,681,695	9,640,303
負債純資産合計	31,667,819	32,958,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)
売上高	19,616,931	22,659,886
売上原価	17,625,115	20,765,028
売上総利益	1,991,815	1,894,858
販売費及び一般管理費	1,407,403	1,503,542
営業利益	584,411	391,315
営業外収益		
受取利息	2,656	3,341
受取配当金	29,708	34,798
持分法による投資利益	37,259	48,697
為替差益	118,173	216,237
助成金収入	4,979	3,299
保険解約返戻金	63,962	—
その他	56,432	57,425
営業外収益合計	313,172	363,799
営業外費用		
支払利息	43,856	39,975
固定資産除売却損	9,638	1,193
その他	11,155	5,350
営業外費用合計	64,651	46,520
経常利益	832,933	708,594
特別利益		
補助金収入	115,806	81,664
出資金清算益	40,242	—
特別利益合計	156,049	81,664
特別損失		
固定資産圧縮損	—	80,000
特別損失合計	—	80,000
税金等調整前四半期純利益	988,982	710,258
法人税、住民税及び事業税	337,359	153,826
法人税等調整額	△84,088	△16,771
法人税等合計	253,271	137,055
四半期純利益	735,711	573,203
非支配株主に帰属する四半期純利益	230	549
親会社株主に帰属する四半期純利益	735,480	572,654

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益	735,711	573,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172,716	194,143
為替換算調整勘定	160,527	407,891
退職給付に係る調整額	△1,852	△5,304
その他の包括利益合計	331,391	596,730
四半期包括利益	1,067,103	1,169,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,066,605	1,168,750
非支配株主に係る四半期包括利益	497	1,183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来、顧客から受け取る対価の総額を売上高として計上しておりましたが、当社グループの役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る対価の総額から関連する原価を控除した純額を売上高として表示することになります。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価は47,771千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年12月1日至2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	制御シス テム事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	賃貸及び太 陽光事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	14,516,419	2,118,640	2,166,046	701,981	113,842	19,616,931	—	19,616,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	85,620	130,988	—	249,721	466,329	△466,329	—
計	14,516,419	2,204,260	2,297,034	701,981	363,563	20,083,261	△466,329	19,616,931
セグメント利益又は損失 (△)	452,364	112,059	△66,949	13,926	71,390	582,791	1,620	584,411

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,620千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年12月1日至2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	制御シス テム事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	賃貸及び太 陽光事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	17,553,736	2,078,473	2,110,230	800,801	116,645	22,659,886	—	22,659,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	78,363	298,835	—	248,889	626,087	△626,087	—
計	17,553,736	2,156,836	2,409,065	800,801	365,534	23,285,974	△626,087	22,659,886
セグメント利益又は損失 (△)	271,590	45,275	△1,535	△6,760	81,125	389,695	1,620	391,315

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,620千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。